

○水生生物モニタリング調査結果一覧（太田川F）

<太田川F 水質底質採取項目>

項目 調査地点	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
F-1	○	○	○	—	○	—
F-2	○	○	○	○	○	○
F-3	○	○	○	—	○	—
F-4	○	○	○	—	○	—
F-5	○	○	○	—	○	—
F-6	○	—	○	—	—	—

<太田川F 現場測定項目>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (°C)	泥温 (°C)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)		
F-1	37.5975°	140.9252°	H28. 10. 21	07:40	07:50	14.1	14.1	砂	2.5Y4/2	なし	0.41	>50		
F-2	37.6016°	140.9423°		08:53	09:03	14.6	14.9	砂	2.5Y4/4	なし	0.35	>50		
F-3	37.6045°	140.9636°		10:00	10:13	14.5	14.6	砂	2.5Y4/6	なし	0.64	>50		
F-4	37.6070°	140.9720°		11:02	11:18	16.3	14.6	砂	2.5Y4/6	なし	0.45	>50		
F-5	37.6022°	140.9868°		11:55	12:05	17.0	16.6	砂	2.5Y4/3	なし	0.33	>50		
F-6	37.5953°	141.0123°		13:43	—	16.7	—	—	—	—	0.56	>50		

<太田川F 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
F-1	37.5975°	140.9252°	H28. 10. 21	07:40	7.4	0.5	2.3	10.5	4.8	0.03	0.9	1	0.9	0.046	0.25	—
F-2	37.6016°	140.9423°		08:53	7.2	<0.5	2.1	10.4	5.9	0.04	0.8	1	0.7	0.023	0.12	0.0032
F-3	37.6045°	140.9636°		10:00	7.2	<0.5	2.3	10.1	6.0	0.04	0.8	<1	0.7	0.019	0.11	—
F-4	37.6070°	140.9720°		11:02	6.7	<0.5	1.6	8.9	7.2	0.04	0.6	<1	0.6	0.016	0.090	—
F-5	37.6022°	140.9868°		11:55	7.0	0.6	2.0	10.1	7.7	0.04	0.8	<1	1.0	0.015	0.079	—
F-6	37.5953°	141.0123°		13:43	7.0	0.6	2.9	10.8	33.7	0.17	1.2	<1	1.7	0.018	0.10	—

<太田川F 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
F-1	37.5975°	140.9252°	H28. 10. 21	07:50	7.1	346	17.3	1.2	1.8	2.629	17.0	28.6	44.7	7.5	1.1	1.1	0.77	9.5	380	2200	—
F-2	37.6016°	140.9423°		09:03	7.1	353	16.3	0.7	1.7	2.629	19.2	38.1	38.2	3.2	0.7	0.6	0.99	9.5	220	1400	0.28
F-3	37.6045°	140.9636°		10:13	7.0	356	20.8	0.6	1.6	2.623	8.8	39.9	46.9	3.7	0.4	0.3	0.83	9.5	230	1400	—
F-4	37.6070°	140.9720°		11:18	6.8	363	18.7	0.5	1.3	2.621	25.7	68.6	5.3	0.3	0.0	0.1	1.5	9.5	100	640	—
F-5	37.6022°	140.9868°		12:05	6.8	361	18.2	1.1	3.0	2.620	30.2	42.2	22.7	4.6	0.2	0.1	1.4	9.5	78	440	—

<太田川F 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
F-1	-	37.5975°	140.9252°	H28.10.21	藻類・植物	-	-	-	-	河床付着物 (藻類を含む)	-	0.017	-	-	-	2120	320	1800	-	
				H28.10.24	藻類・植物	-	-	-	<i>Bryophyta</i>	コケ植物	-	0.050	-	-	-	-	1000	150	850	-
					藻類・植物	単子葉植物	イネ	イネ	<i>Phragmites australis</i>	ヨシ	-	0.11	-	-	-	-	1020	150	870	-
				H28.10.21	節足動物	昆虫	トンボ [*]	エゾトンボ [*]	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	41	0.0098	幼虫 (ヤゴ)	-	-	176	26	150	-	
					節足動物	昆虫	トンボ [*]	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ										
					節足動物	昆虫	トンボ [*]	ササエトンボ [*]	<i>Nihonogomphus viridis</i>	アオサナエ										
					節足動物	昆虫	トンボ [*]	ササエトンボ [*]	<i>Onychogomphus viridicostus</i>	オナガサナエ										
					節足動物	昆虫	トンボ [*]	ササエトンボ [*]	<i>Davidius sp.</i>	ダビドサナエ属										
					節足動物	昆虫	トンボ [*]	ササエトンボ [*]	<i>Asiagomphus melaenops</i>	ヤマサナエ										
					節足動物	昆虫	トンボ [*]	ヤンマ	<i>Boyeria maclachlani</i>	コシボソヤンマ										
				H28.10.24	軟体動物	腹足	エビ [*]	ヌカエビ [*]	<i>Paratya improvisa</i>	ヌカエビ	182	0.029	成体	-	-	292	42	250	-	
				H28.10.21	軟体動物	腹足	盤足目	カワニナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	カワニナ	30	0.012	成体	-	軟体部	267	37	230	-	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius cuvieri</i>	ゲンゴロウブナ	1	0.79	成魚	藻類	内臓除去	410	60	350	-	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ [*]	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	4	0.011	成魚	-	-	407	57	350	-	
脊椎動物	両生	無尾	-		-	カエル類	4	0.017	幼生 (ヤマヅナガ)	-	-	2000	300	1700	-					
F-3	-	37.6045°	140.9636°	H28.10.21	粗粒状有機物	-	-	-	-	水底落葉等	-	0.19	-	-	141	21	120	-		
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Nipponocypris temminckii</i>	カワムツ	6	0.040	未成魚	-	-	224	34	190	-	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	3	0.0066	未成魚	-	-	431	71	360	-	

- ※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。
- ※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。
- ※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。
- ※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。
- ※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。
- ※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。
- ※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。
- ※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。